

新棟建設で学生のキャンパスライフをサポート —緑豊かな江古田キャンパスは、池袋から 6 分—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、来る 2022 年に母体となる武蔵学園が創立百周年を迎えることから、学内整備を行い、新棟「大学 11 号館」の建設を進めています。大学 11 号館には、ラーニングコモンズや GS エリア(※)などを設け、学生の研究活動が、より快適になるような環境づくりを目指しています。

本学は、実業家であった根津嘉一郎(初代)が 1922 年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校がルーツ。池袋から 6 分と都心に近い場所にありながらも、緑豊かな本学のキャンパスには、練馬区のねりまの名木に選定された大欒や濯川（すすきがわ）があり、学生に安らぎと潤いと与えています。

※ GS:グループスタディのこと

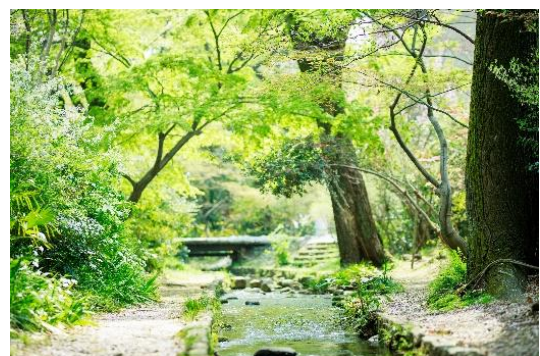
■新棟「大学 11 号館」の概要(予定)

大学 11 号館は、学生が思い思いに学べるラーニングコモンズや、各学部の GS エリア、ウッドデッキテラスなどを備えています。学生主体のグループワークや研究活動等のサポートを強化した施設として計画されています。

- ◆ 建設場所 江古田キャンパス内
- ◆ 竣工予定 2021 年 11 月
- ◆ 建物概要 地下 1 階 地上 5 階建、
延べ面積約 3,250 m²
- ◆ 特 長 内部に柱がない「無柱空間」を採用
衛生設備の非接触化および清掃のしやすい器具を選定するなど衛生面に配慮
- ◆ 施設内容 ラーニングコモンズ、GS エリア、研究室、
教室、その他



学生の研究活動を支える新棟（イメージ図）



緑豊かなキャンパスに流れる濯川

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022 年、武蔵学園は創立 100 周年を迎えます。



■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部（仮称）の設置を構想中

学長 山崎哲哉

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1